

Ryutopia × Tradition

小夏さんに聞く、りゅーとぴあ伝統芸能の関係

Furumachi geigi

りゅーとぴあでの
古町芸妓公演について

「りゅーとぴあで年に一度、全ての古町芸妓が総出演する公演があります。『ふるまち新潟をどり』は、日頃のお座敷ではお目にかけない演目を披露する特別な機会。京都祇園と並び称された古町花柳界の伝統を今に伝える、新潟の誇りそのものです。郷土新潟が育んできた伝統芸能を、新潟の舞台芸術の発信地でお見せすることができて、とてもうれしく思っています」

本物は時を超えて愛されます

「クラシックも古町芸妓も、良いものだから今日まで受け継がれてきました。古びたものではなくヴィンテージ、時を経た逸品なんです。クラシックは数えきれないほど名曲があり、一生聴いても新しい曲と出会えるところがいいですね」

Fashion

「クラシックコンサートには洋服で、伝統芸能には和服で行くようにしています。演奏者や演者の方への敬意を忘れないように」

ちなみにジュニア合唱団時代からの行きつけは青島ラーメンです!!



りゅーとぴあ周辺にはレストランやカフェなど魅力的なお店がたくさん。コンサートで心を満たしたあと、余韻を愉しむにはぴったり。ぜひ足を延ばしてみてください。

きちんと知りたいクラシックの基本
調性のヒミツ for beginners

調性って何?

クラシックの曲は「○長調」「○短調」という調性が題名に入っています。長調・短調あわせて24の調があり、それぞれ曲の雰囲気や音のイメージが異なります。「運命」「田園」の調性について解説します。

「運命」=ハ短調

最も輝かしい「ハ長調」と対比をなす影の短調。嵐のような男性的な調性です。「運命」の、苦難から歓喜への表現にぴったり。他にはショパンのエチュード第12番「革命」、マーラーの交響曲第2番「復活」など。

「田園」=ヘ長調

牧歌的で明るい雰囲気調性。ホルン(in F)が得意な調で、ホルンが活躍する曲が多くあります。他にはヴィヴァルディ「四季」より「秋」や、ポップスだとビートルズの「イエスタデイ」がこのキーにあたります。

長調は明るく、短調は落ち着いた感じですね



チケット購入方法は3つ! どれも手続きカンタンです!



りゅーとぴあオンライン・チケット
<https://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>
※事前の利用登録が必要です。



りゅーとぴあ2F
インフォメーションカウンター



りゅーとぴあチケット専用ダイヤル
025-224-5521
※11:00~19:00 / 休館日除く

ご来場
お待ちしております!!



第112回 | 新潟定期演奏会

東京交響楽団

2019年 **3月31日** (日) 5:00p.m.
りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

ベートーヴェン: 交響曲 第5番 ハ短調 op.67 「運命」

ベートーヴェン: 交響曲 第6番 ヘ長調 op.68 「田園」

【チケット料金】S席7,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 D席売切

U25シート1,500円(税込) / 対象: 25歳以下(未就学児を除く)

※U25シートはコンサート当日空席がある場合に限り15:00よりインフォメーションで販売

※購入時に年齢のわかるものを提示 ※席種及び座席番号の指定不可

【チケット取扱い】りゅーとぴあ(窓口・電話・オンライン)

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)

りゅーとぴあオンライン・チケット: <https://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

新潟伊勢丹 / セブンチケット: <http://7ticket.jp/>

【主催】公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

【お問い合わせ】りゅーとぴあチケット専用ダイヤル **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)

「運命」&「田園」

これこそ、音楽の「世界遺産」

名作には理由がある。迫力の響きと美しいメロディ、そして見事なストーリー。時を越え、世界中の人々を魅了し続ける「運命」と「田園」を、この日で。

指揮= 高関 健

Conductor = Ken Takaseki

© Masahide Sato

日々を愛する大人たち

RYUTOPiAN

クラシック音楽のコンサートや、劇場でのお芝居など、舞台芸術を自然体で楽しんでいる人々がいます。自由に、感じるままに。そこで得た感動を、明日への力に変えていく。そんな大人たちをご紹介します。

03

東京交響楽団

第112回

新潟定期演奏会

TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

今回のヒト 小夏さん

古町芸妓、留袖の小夏さん。ご自身でもりゅーとぴあで公演を行うほか、コンサートにも度々足を運んでいます。

帰ってこれるホームのような場所

「私がコンサートに足を運ぶようになったのは、友人に誘われて辻井伸行さんのコンサートに行ったことがきっかけです。演奏に惹き込まれ、その後もコンサートがあると足を運んでいます。演奏だけでなく、その人らしさを感じるトークも楽しみのひとつです。私も小学生から高校生まで新潟市ジュニア合唱団に所属し、何度もりゅーとぴあのステージに上がっていました。今でも、『ふるまち新潟をどり』で舞台上がることもあり、時が経っても長く関わりつづけているホームのような場所です。お仕事で和服を着ることが多い私にとって、コンサートはおめかしができる場でもあります。スカートをはいたり、アクセサリーをつけたり、普段とは違う自分になれるのでちょっと気分を変える機会にもなって楽しいです」

絶望の淵で見つけた

生きていく意志

日本の田園風景にも
通じる穏やかな
曲調を楽しんで



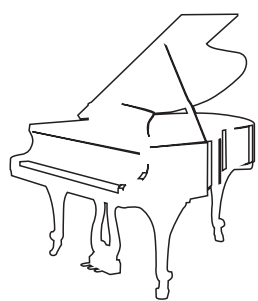
- ～全体で一連の物語を表す5楽章～
- 1.「田舎に到着したときの晴れやかな気分」
 - 2.「小川のほとりの情景」
 - 3.「田舎の人々の楽しい集い」
 - 4.「雷雨、嵐」
 - 5.「牧歌 嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」

Pastorale Pastorale Pastorale
Pastorale Pastorale Pastorale
Pastorale Pastorale Pastorale
Pastorale Pastorale Pastorale
Pastorale Pastorale



ベートーヴェン：交響曲 第6番
ヘ長調 op.68「田園」

ベートーヴェンは「交響曲第8番」まで、1曲では伝えきれないテーマを2曲セットで作曲していました。「運命」と「田園」は1対で書かれ、初演も同時。どちらも徹底したモチーフ（動機）展開の楽曲という点で共通しています。



自然を愛し、夏には
郊外を訪れた
ベートーヴェン

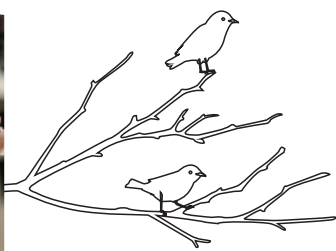
「田園」は、ベートーヴェンがその自然をこよなく愛したウィーン郊外のハイリゲンシュタットで作曲されました。楽譜には「シンフォニア・パストレッラ（田園風交響曲）」の記述が残っています。

Heiligenstadt

ハイリゲンシュタットの
ハイルゲンシュタットの
遺書と呼ばれた手紙

ハイリゲンシュタットを初めて訪れたとき、ベートーヴェンは音楽家として致命的な難聴を患っていました。絶望の淵で彼が弟たちに書いた手紙は、後に「ハイリゲンシュタットの遺書」と呼ばれます。美しい森を幾日も歩き回り、苦悩し続けたベートーヴェンは、芸術への熱情を生きる力に変えていきました。

「田園」は単なる自然の描写ではなく
感情を表現したものと作曲家は強調
当時の自然描写音楽へのアンチテーゼ



トリルは小鳥のさえずり

第2楽章にしばしば現れるトリル。フルートがサヨナキドリ、オーボエがウズラ、クラリネットがカッコウを模倣しています。

「運命」と「田園」の
類似点

どちらの曲も冒頭いきなり休符で始まること。曲が始まってワンフレーズだけ演奏されたあと一旦止まり、聴く人にメロディーを印象付けていること。ピッコロとトロンボーンが初めて交響曲で使用されたこと。後半の楽章が切れ目なく演奏されること。性格の違う双子児のような共通点がたくさんあります。

初演は37歳の時。
指揮も自分自身で
振りました

会場

りゅーとびあ
新潟市民芸術文化会館
コンサートホール

2019年3月31日(日) 5:00 p.m.

No.112 Sun.31st march 2019,5:00p.m.

Ludwig
van
Beethoven



ベートーヴェン：
交響曲 第5番 ハ短調
op.67「運命」

冒頭のジャジャジャーンは「運命のモチーフ（動機）」と呼ばれ、曲全体で数百回も使われています。実は「運命」以前にも「ピアノ・ソナタ 第1番」など数曲で似たモチーフが使われており、ベートーヴェンはこの“究極の音”にこだわり続けていたのです。

観客が寒さに
震えた初演

1808年ウィーンでの初演は、「暖房もなく観客が寒さに耐えながら聴いた」「第1部で演奏予定だったアリアは、歌手が急遽出演できなくなり割愛された」と資料に記されています。

東京交響楽団

第112回 新潟定期演奏会

TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director



Conductor = Ken Takaseki

指揮＝高関 健

運命に激しく翻弄される第1楽章に始まり、定めに対峙し瞑想するかのような第2・第3楽章、そして困難を乗り越えた喜びを爆発させる最終楽章。「暗から明へ」のドラマティックな楽曲構成を、高関健がどう聴かせてくれるのか。

交響曲で初めてピッコロ、
コントラファゴット、
トロンボーンが使われました！



「5番」が名曲の
代名詞に

ベートーヴェン以降